

目指す学校像

明日の登校を
楽しみに
できる学校



自主・自律 敬愛 協働

鶴中だより

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより

第4号

2026年5月18日発行

町田市立鶴川中学校

CLICK!

検索

1 5月1日朝礼講話

校長 大石 眞二

おはようございます。今月は、皆さんが楽しみにしている体育祭が開催されます。校庭からは、威勢の良い掛け声やバトンパスの練習の音が聞こえるようになり、学校全体が活気づいているのを感じます。さて、今日は本校の教育目標の一つである「協働」についてお話ししたいと思います。

皆さんは、学校や家庭でパソコンを使いますね。一台のパソコンでできることには限界がありますが、実は何台ものパソコンをネットワークでつなぎ、一つの大きなシステムとして動かす「連結」という技術があります。バラバラでは時間がかかる複雑な計算も、連結して力を合わせることで、凄まじいスピードで処理できるようになります。この技術を用いると非常に効率的で、非常に高価なスーパーコンピューターを使わなくても高度な計算ができるのだそうです。

しかし、私たち人間の「協働」は、パソコンの「連結」とは決定的に違う点があります。それは、「一人一人が目的を自覚し、自分の意志で工夫を重ねることができる」という点です。パソコンはプログラムされたとおりに動きます。プログラムどおりにしか動けないと言ってもよいかもしれません。しかし、人間は違います。「どうすればもっと速くなるだろう。」「今の失敗の原因は何だったのか。」「転んでしまった仲間に、今どんな声をかけるべきか。」このように、自分たちで考え、対話し、試行錯誤できることこそが、機械とは異なる人間ならではの「協働」の姿なのです。

体育祭は、正にその「協働力」を発揮する絶好の機会です。3年生の学年種目には「ムカデ競争」がありますね。3年生は分かると思いますが、ただ足を縛って並ぶだけでは、一歩も前に進めませんね。全員が「心をつなげてゴールする」という目的を強くもち、誰かがつまづきそうになったら速度を緩め、誰かが遅れたら声を掛け合う。あの長い列が一体となって動く瞬間、そこには単なる連結を超えた、人間らしい工夫と絆があります。また、「全員リレー」も同じです。足の速い人も、走るのが苦手な人も、全員がバトンをつなぎます。バトンを渡す一瞬の工夫、全力で走る仲間への応援。一人一人の役割が組み合わさり、クラスという一つの大きな力が生まれるのです。

体育祭当日、勝敗が決まるのは一瞬です。しかし、そこに至るまでの「どうすれば良くなるか」と悩み、協働して工夫した過程は、皆さんの心の中に一生残る宝物になります。もちろん、体育祭の目標は勝利だけではありません。最初は全然できなかったことが、高いレベルで実現できる。ひとつになる。そんな実感を味わう、あるいは見ることができる。これが体育祭の醍醐味です。パソコンの連結のように、プログラムどおりに動く、単なる「部品」

として参加するのではなく、一人一人が「意志をもったプレイヤー」として、クラスの仲間と最高の協働を達成する。その達成感をぜひ体験してほしいと思います。今年の体育祭が皆さんにとって、最高の体育祭になることを期待しています。熱中症や怪我に気を付けて、精一杯取り組んでいきましょう。頑張りましょう！

2 5月2日(土) セーフティ教室、評価・部活動保護者会

5月2日(土)、午前中の学校公開に続き、評価・部活動保護者会が行われ、保護者会の全体会の間には SNS トラブルの未然防止などに関するセーフティ教室保護者向け版もはさまれました。生徒向けのセーフティ教室は、同日の4限に全生徒を対象として行われ、そちらを参観していただいた方もいらっしゃいました。SNS トラブルを避けるための家庭ルールの決定は、お子様とよく話し合われた上で決定するのがよいという講師の先生のお話もありました。ご家庭でまだルールを設定されていない場合は、ぜひスマホ使用上の家庭ルールをご検討ください。

当日は延べ 200 名近くの保護者の方にご参加いただきました。GW の初日という、ご多忙な日にも関わらず、たくさんのご参加、ありがとうございました。

評価に関する説明については、進路学習部主任より、観点別評価や評定について説明がありました。今後もしも不明の点がありましたら、どうぞご質問ください。

【2027 年度以降の部活動のあり方について】

部活動については、個別の部活動保護者会の前に、全体会において「部活動の地域連携・地域展開について」の説明をさせていただきました。町田市では今年度から土日祭日の部活動は希望する顧問のみ、令和 9 年度からは平日の部活動も希望する顧問のみによって行われることとなっています。

学校生活における部活動の意義と役割については、子どもたちの成長にとって非常に重要であることは疑いありません。しかし、過度な勝利至上主義に対する反省や教員の働き方改革推進の観点から、これまでのような教員の善意だけに頼った部活動運営はできなくなってきていることは、保護者の皆様もご承知のとおりです。

そこで本校では、昨年度来学校運営協議会の皆様にも意見を諮り、4月30日の第一回学校運営協議会において、次の2点の形を進めていくことを承認していただきました。

- ① 2027 年度以降の平日の部活動は 4 時 40 分までとする。顧問が希望する部活動についてはそれ以降を「クラブ活動」として実施する。
- ② 「クラブ活動」は有償で実施する。これに伴い、運動系の部活動と吹奏楽部のクラブ活動は、部費とは別に費用を徴収する。すなわち有料となる。

なお、徴収金額や聴衆の方法、指導者(クラブ活動によっては教員以外の部活動指導員もあり得る)等についての詳細については、先行実施校の運営方法を参考にしながら、推進委員会で決定してまいります。諸事情ご賢察の上、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。